CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

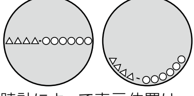
シチズンホームページ (http://citizen.jp/) でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6 ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)
この番号を「側番号」といいます。
側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。
右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
絵表示の意味をよく理解してから 50 ページ～ 59 ページを必ずお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

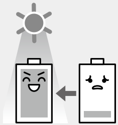
時計をご使用になる前に、必ず以下の 2 つのことを行ってください。

◆ **現在の充電量を確認する→ 20 ページ**

現在の充電量が十分か確かめます。

◆ **時刻 / カレンダーを設定する→ 24、26 ページ**

正しい時刻 / カレンダーに合わせます。



この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については 18 ～ 23 ページをご覧ください。

◆ 保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

◆ バンド調整について

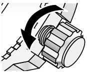
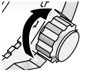
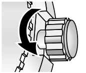
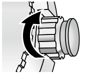
お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

◆ 特殊な構造のりゅうず / ボタンについて

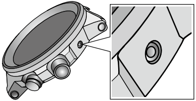
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使い方

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタンの使い方



ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

もくじ

この時計の特長



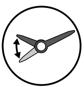
エコ・ドライブ
光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。



パーペチュアルカレンダー
月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。
うるう年も自動で更新します。



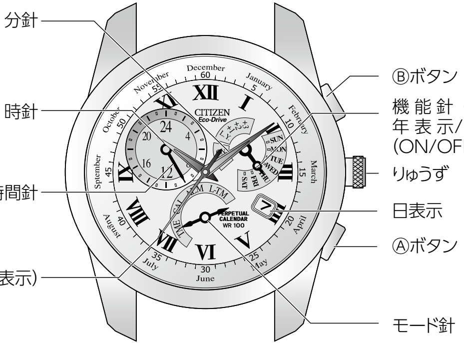
アラーム
設定した時刻をアラーム音でお知らせします。



ローカルタイム
現在時刻とは別の時刻をセットして切り替える事ができます。
1 時間単位で時差設定ができます。

・「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

各部の名称

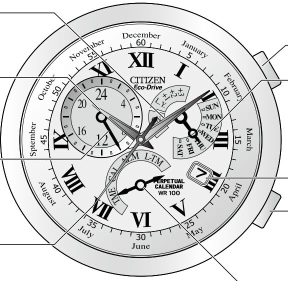


- お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

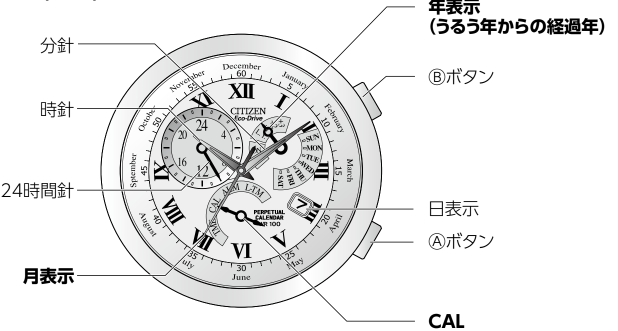
時計の見かた

モードによって、各針の働きが変わります。

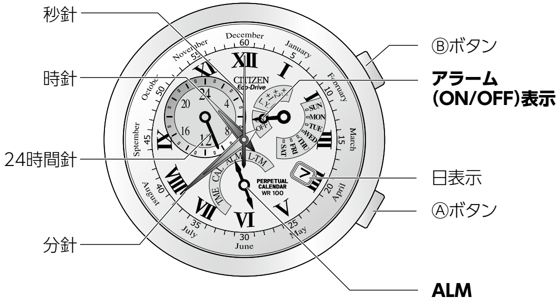
◆ 時刻（TME）モード



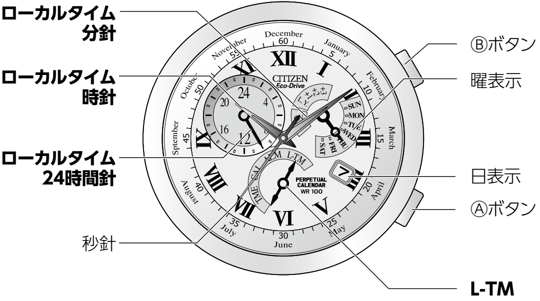
◆ カレンダー（CAL）モード



◆ アラーム（ALM）モード

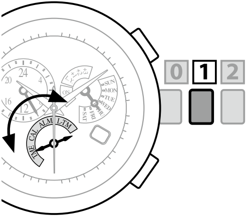

秒針
時針
24時間針
分針
Ⓑボタン
アラーム
(ON/OFF)表示
日表示
Ⓐボタン
ALM
CITIZEN
Eco-Drive
PERPETUAL
CALENDAR
WR 100
TIME
CAL
ALM
L-TM
OFF
SUN
MON
TUE
WED
THU
FRI
SAT
December
January
February
March
April
May
June
July
August
Sptember
October
November

◆ ローカルタイム（L-TM）モード



モード（表示機能）を切り替える

この時計は、時刻（TME)、カレンダー（CAL)、アラーム（ALM) およびローカルタイム（L-TM) の 4 つのモードを持っています。
りゅうずの位置を[1]にして回転させると、モードが切り替わります。
モード針で現在のモードを確認してください。



1. りゅうずの位置を[1]にする
秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

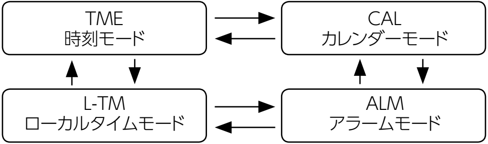
2. りゅうずを回してモードを切り替える

3. りゅうずの位置を[0]にして設定を終了する

モード切り替えを行うときは、りゅうずを引き過ぎないように注意してください。

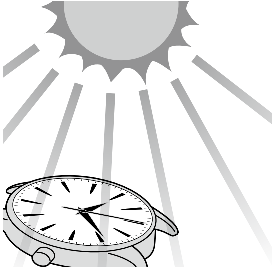
- りゅうずの位置を[2]にすると、秒針が停止して時間がずれてしまいます。
- 各モードでりゅうずの位置を[2]にして回転させると、設定した時刻やカレンダーが変わってしまいます。
- モード針が表示文字の中央を指すまで、確実にりゅうずを回転させてください。
- モード切り替え後は、確実にりゅうずの位置を[0]にしてください。りゅうずを引き出した状態で使用すると、部品の破損や防水不良等の原因になります。

【モード / 表示機能】



充電について

この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。
時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。
図のように文字板が光に当たるように置いて充電すると、比較的効率よく充電する事ができます。



時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

- 月に一度は長時間直射日光に当てて、5～6時間充電してください。
- 光の当たらない場所での長期保管は避けてください。

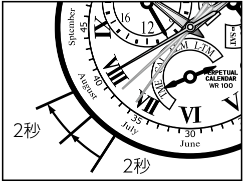
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
- 高温下（約 60℃以上）での充電はおやめください。

◆ 充電不足になると（充電警告機能）

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が 2 秒毎に動きます (2 秒運針)。文字板を光に当てて充電してください。

- しばらく充電すると、秒針が 1 秒毎に動くようになります。
- 2 秒運針が 3 日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

2 秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。ただし、モード切り替えやその他の操作はできません。アラームも鳴りません。



◆ 環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	2分	1時間	8時間
屋外（曇天）	10,000	11分	4.5時間	45時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	13時間	150時間
屋内照明	500	4時間	100時間	—

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで：
約7ヶ月（通常使用時）、約1.5年（パワーセーブ時）

◆ パワーセーブ機能

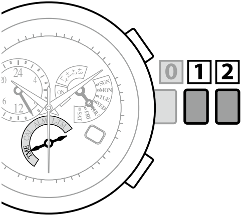
ケースの中など暗所に時計を保管し、30 分以上文字板に光が当たらない状態が続くと、秒針を自動的に停止して、内蔵電池の消耗を抑えます。
このとき、秒針の動きは止まりますが、時計は動作し続けます。

- りゅうずの位置が[1]または[2]のときは、パワーセーブは働きません。
- 手動でパワーセーブ機能を働かせることはできません。

◆ パワーセーブを解除するには

文字板に光が当たり充電が始まると、パワーセーブは解除され、通常時刻表示になります。

時刻を合わせる



1. りゅうずの位置を1にする

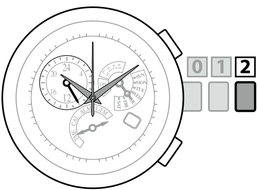
秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

- 秒針が 30 秒位置で停止しない場合は、「基準位置を確認・修正する」を参照して基準位置合わせを行ってください。
→ 39 ページ

2. りゅうずを回転させて、モード針を時刻（TME）モードに合わせる

3. りゅうずの位置を2にする

秒針が 0 秒位置に移動し、時刻合わせができるようになります。



4. りゅうずを回して、時刻を合わせる

- りゅうずを素早く回転させると、時刻は連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
- 24 時間針は、時針に連動しています。午前、午後をまちがえないように時刻を合わせてください。

5. りゅうずの位置を0にして時刻合わせを終了する

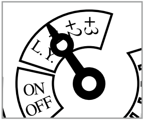
時報に合わせて、りゅうずを押し込んでください。

カレンダーを合わせる

一度合わせると、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで自動的に年（うるう年からの経過年)、月、日、曜が切り替わるパーペチュアルカレンダーです。

◆ 年と月の表示について

機能針は、うるう年を「0 年」として、1 年目、2 年目などの経年を表示します。



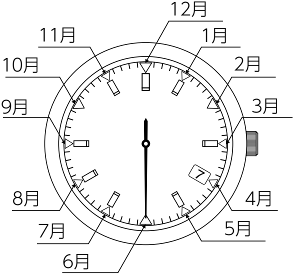
上の図では、うるう年から 1 年目が表示されています。

【年表示の見かた】

表示	経年	年
L.Y.	0 年（うるう年)	2016、2020、2024
+1	1 年	2013、2017、2021
+2	2 年	2014、2018、2022
+3	3 年	2015、2019、2023

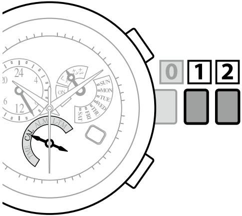
【月表示の見かた】

秒針の位置で各月を表示します。



上の図では、6 月が表示されています。

◆ カレンダーの合わせかた



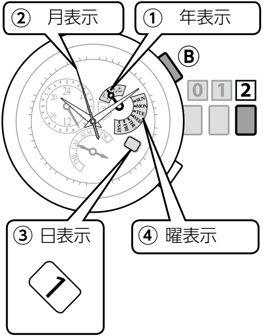
1. りゅうずの位置を1にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をカレンダー（CAL）モードに合わせる

3. りゅうずの位置を2にする

秒針が月表示位置、機能針が年表示（うるう年からの経過年）位置に移動します。

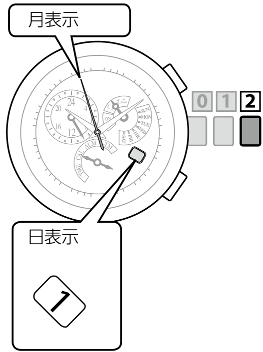


4. Ⓑボタンを押して、修正する対象を選ぶ

Ⓑボタンを押すごとに、次のように修正対象が切り替わります。

① 年表示（うるう年からの経過年）→
② 月表示→
③ 日表示 →
④ 曜表示→
(始めに戻る)

次のページに続く



5. りゅうずを回して、各設定を合わせる

月表示：

- りゅうずを右に回すと、秒針が次の月に進みます。月は反時計回りには修正できません。

日表示：

- りゅうずを右に回すと、機能針が時計回りに 4 回転して日が 1 日進みます。
- りゅうずを左に回すと、機能針が反時計回りに 4 回転して日が 1 日戻ります。
- 日の連続修正はできません。1 日ずつ確実に修正してください。

6. 手順 4 と 5 をくり返す

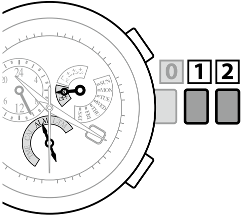
7. りゅうずの位置を⓪にして設定を終了する

アラームを設定する

◆ アラームについて

アラームは 24 時間制で、一度セットすると 1 日 1 回、セット時刻にアラーム音が 15 秒間鳴ります。
セットしたアラーム時刻は、各モードの時刻に連動します。ローカルタイムに合わせてアラーム時刻の時差を修正する必要はありません。

◆ アラームを設定する



1. りゅうずの位置を1にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をアラーム（ALM）モードに合わせる

- 時針と分針が、前回セットしたアラーム時刻まで移動します。
- 機能針が、「ON」または「OFF」に移動します。

3. りゅうずの位置を2にする

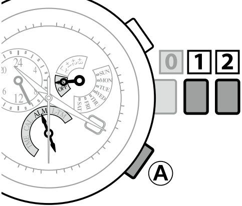
- 秒針が 0 秒位置に移動します。
- 機能針が「ON」位置に切り替わります。

4. りゅうずを回して、アラーム時刻を合わせる

- りゅうずを素早く回転させると、時刻は連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
- 24時間針は、時針に連動しています。午前、午後をまちがえないようにアラーム時刻を合わせてください。

5. りゅうずの位置を0にして設定を終了する

◆ アラームの ON/OFF 切り替え



1. りゅうずの位置を1にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をアラーム（ALM）モードに合わせる

- 時針と分針が、前回セットしたアラーム時刻まで移動します。
- 機能針が、「ON」または「OFF」に移動します。

3. りゅうずの位置を2にする

- 秒針が 0 秒位置に移動します。
- 機能針が「ON」位置に切り替わります。

4. Ⓐボタンを押して、アラームの ON/OFF 切り替えを行う

機能針が、アラームの ON/OFF 設定を示します。Ⓐボタンを押すごとに、機能針が「ON」⇔「OFF」を指し、アラームの ON/OFF が切り替わります。

5. りゅうずの位置を⓪にして設定を終了する

◆ アラームの ON/OFF の確認

時刻（TME) モードでⒶボタンを押すと、押している間、機能針が ON または OFF を指します。

◆ アラームの止めかた

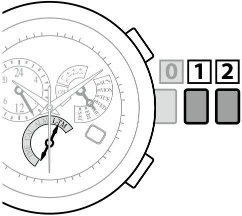
アラーム音を止める場合は、Ⓐボタンまたは Ⓑボタンを押してください。止める操作を行わなかった場合、15 秒間鳴ったあとにアラームは止まります。

◆ アラームの ON/OFF の確認

アラーム（ALM) モードでりゅうずの位置が[0]のとき、Ⓐボタンを押すと押している間アラーム音が鳴ります。

ローカルタイムを合わせる

ローカルタイム（L-TM）は、現在時刻とは別に他の地域の時刻をセットできる機能です。時刻（TME）モードを基準に､1 時間単位で時差修正ができます。分、秒針は現在時刻に連動しています。



1. りゅうずの位置を1にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をローカルタイム（L-TM）モードに合わせる

3. りゅうずの位置を2にする

秒針が動きだし、現在時刻を表示します。

次のページに続く

4. りゅうずを回して、ローカルタイム時刻を合わせる

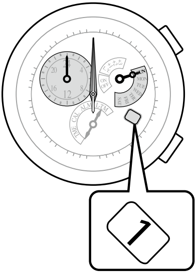
- りゅうずを素早く回転させると、時刻は連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
- 24時間針は、時針に連動しています。午前、午後をまちがえないようにアラーム時刻を合わせてください。

5. りゅうずの位置を0にして設定を終了する

基準位置を確認・修正する

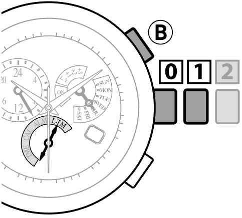
◆ 基準位置とは

時刻・日を表示するために基準としている、針と日の位置のことです。基準位置が正しい位置にない場合、時刻や各機能が正しく表示されません。



正しい基準位置	
24 時間針	すべてが真上を指している
時針、分針	
秒針	
日	1 日
機能針	SUN（日が 1 日に切り替わった直後の「SUN」）

◆ 基準位置を確認・修正する



1. りゅうずの位置を[1]にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をローカルタイム（L-TM）モードに合わせる

3. りゅうずの位置を[0]にする

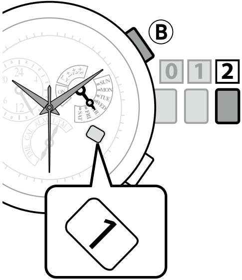
4. Ⓑボタンを 10 秒以上押して、離す

各針と日表示が動き、現在の基準位置が表示されます。

基準位置の確認を終了する場合：
→手順 5 へ進む。
基準位置がずれていた場合：
→手順 6 以降へ進む。

5. Ⓑボタンを押して、確認を終了する

何の操作もしないまま 2 分たつと、自動的に通常表示に戻ります。



6. りゅうずの位置を2にする

基準位置の修正ができるようになります。

7. Ⓑボタンを押して、修正する対象を選ぶ

Ⓑボタンを押すごとに、次のように切り替わり、修正対象の針が少し動きます。

① 秒針 →
② 分針 / 時針 →
③ 機能針 / 日表示 →
（始めに戻る）

次のページに続く

8. りゅうずを回して、各設定を合わせる

- りゅうずを素早く回転させると、各針は連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。

秒針：

- 秒針は反時計回りには修正できません。

機能針 / 日表示：

- 日は機能針に連動して動きます。機能針が 4 回転するごとに日表示が 1 日切り替わります。
- 日が「1」に切り替わった直後の「SUN」に合わせます。
- 逆回転で日を合わせる場合は、いったん日を「31」まで戻してから、日の「1」が表示するまで機能針を時計回りに連続回転させてください。

9. りゅうずの位置を0にして、Ⓑボタンを押して設定を終了する

各針と日付がローカルタイム表示に戻ります。

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

針の動きがおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
秒針が 2 秒毎に動く	充電する	20
全ての針が停止している	りゅうずの位置を0にする	–
	直射日光で、秒針が 1 秒ごとに動くまで充電する	20

時刻・日・曜がおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時刻や日が正しくない	基準位置を確認・修正する	40
	時刻・カレンダーを合わせる	24、26
昼の 12 時頃に日が変わる	時刻を修正する	24
	基準位置を確認・修正する	40

アラーム

時計の状態	対処方法	詳細ページ
アラームが鳴らない	2秒運針中はアラームは鳴りません。充電してください	20
	アラーム設定を ON にする	34

その他

時計の状態	対処方法	詳細ページ
充電しても、すぐに止まる	直射日光で約 5 ～ 6 時間充電する それでも、変化がないときは、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	18、64

◆ オールリセットについて

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

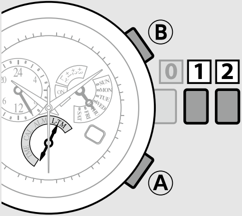
オールリセットを行ったあとは

オールリセットのあとは、すべての設定をやり直す必要があります。次の順序にしたがって設定を行ってください。

1. 基準位置を修正する 41 ページをご覧ください。
基準位置の修正は、手順 6 ～ 9 の作業を行ってください。
2. 時刻を合わせる 24 ページをご覧ください。

◆ オールリセットを行う

前ページの内容をご確認いただいた上で行ってください。



1. りゅうずの位置を1にする

秒針が 30 秒位置へ移動して停止します。

2. りゅうずを回転させて、モード針をローカルタイム（L-TM）モードに合わせる

3. りゅうずの位置を2にする

秒針が動きだし、現在時刻を表示します。

4. Ⓐボタンと Ⓑボタンを同時に押す

確認音が鳴って、オールリセットが行われます。

エコ・ドライブ（光発電）取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くようにに心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠注意　充電上の注意

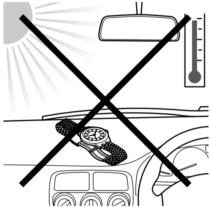
・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例）

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。

- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
  ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠警告　二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
  やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
  万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠警告　指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
  他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

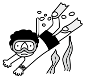
防水性能について

⚠警告　防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST（ANT）×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	ー	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使用例				
					
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠注意　携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。
  色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。
  バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
- 金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<定期点検（有償）について>

- 防水性能について
  防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行っていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。
- 分解掃除（内装修理）について
  腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	E87＊	型式	アナログソーラーパワーウオッチ
時間精度	平均月差± 15 秒　常温（+ 5℃～+ 35℃）携帯時		
作動温度範囲	− 10℃～+ 60℃		
表示機能	・時刻：時 / 分 / 秒 /24 時間 ・カレンダー：うるう年からの経年 / 月 / 日 / 曜		
持続時間	・充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで： 約 1.5 年（パワーセーブ機能が作動しているとき） 約 7 ヶ月（パワーセーブ機能が作動しないとき） ・充電警告が始まってから時計が停止するまで：約 3 日 ※表記されている持続時間は下記の条件での持続時間です。 ・ 1 日に 1 回、アラームを使用する		
使用電池	二次電池（ボタン型リチウム電池）　1 個		

付加機能	・光発電機能 ・過充電防止機能 ・充電警告機能（2 秒運針） ・パワーセーブ機能（節電機能） ・ローカルタイム（時差修正：1 時間単位） ・パーペチュアルカレンダー（2100 年 2 月 28 日まで） ・基準位置確認・修正機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

HAE05

http://citizen.jp/

Cal.E87*